

事務事業名	地域公共交通活性化協議会参画事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2032										
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	政策推進課	課長名	櫻本政明										
			所属担当	行政運営・統計担当	担当者名	三枝万也										
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	16	公共交通の整備	事業区分	01	一般	0	2	0	1	0	7	0	5	0	0	4
施策	26	公共交通ネットワークの充実		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)			法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律											
事業概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域公共交通総合連携計画の作成に関する協議及び連携計画の実施に係る連絡調整を行うため、協議会を平成20年度に設置した。		事業費の主な内訳 (22年度)													
	・平成21年度に地域公共交通総合連携計画の策定を行う。 ・平成22～24年度の策定された連携計画をもとに実証運行を行う。		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)										
			負担金	24,100												
					計				24,100							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	23年度活動予定
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	通勤通学者及び高齢者の移動手段を確保することができる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市内の公共交通ネットワーク充実を図ることができる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:開催回数	回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:市の人口	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:利用者数	人
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:公共交通の満足度調査	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	80	16,186	23,018	24,409				
		事業費計(A)	千円	80	16,186	23,018	24,409	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1				
		従事業務時間	時間	60	90	90	90				
		人件費計(B)	千円	268	401	357	357	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	348	16,587	23,375	24,766	0	0	0	0
	活動指標	ア:回		2.0	5.0	4.0	5.0				
	対象指標	ア:人		72,869.0	73,014.0	72,826.0	72,788.0				
	成果指標	ア:人		0.0	24,000.0	24,000.0	27,000.0				
	上位成果指標	ア:%		0.0	12.4	12.5	12.6				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市民意向調査と過去の社会実験を踏まえ、H20、協議会を設置し要望の多かった鉄道駅と連絡する路線とし、H21地域公共交通総合連携計画が策定され、H22より実証運行を行なった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	少子高齢化により交通弱者数は横ばい傾向であるが、高齢者人口は今後、増加傾向にある。公共交通へのニーズは多種多様であるが、財政状況は厳しくなる。有効性を見極めを要する。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	持続可能な公共交通の確立が求められる反面、福祉に注視した公共交通、また、観光などの連携についても、意見が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	社会実験をおこない検討してきた。H22年度から実証運行を開始。運行本数を多めに設定し、市民ニーズを把握している。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	アンケート調査をおこない市民の意向を踏まえ、運行形態等ニーズに沿った改善(バス停移設等)を行なった。

事務事業名	地域公共交通活性化協議会参画事業	所属部	総合政策部	所属課	政策推進課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 通勤・通学者の利用(朝、夕の時間帯)は多く、意図が上位目的に結びついている。ある程度の成果とニーズ把握にはつながっているが、今後は運行形態の見直しも必要。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 持続可能な公共交通の構築のための実証運行を行なう意義はある。他県では、交通困難地域の住民が協議会をつくり、主体的に運行を実施している例もあるので、全面的に公共が携わらなくても良いのでは。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 国の補助金がH23年度で終わりになり、継続となれば市の負担は増加する。公共交通の充実、本市にとって重要課題ではあるが、必要性についてはニーズと対象をしっかりと把握することが大事。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 認知度が予想以上に低いもの乗車率の低迷につながっている。ポスター、看板等での周知成果の向上が見込める。また、停留所、時刻表により改善が見込める。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 H22～24の間に予定していた実証運行が終わり、通勤通学的手段として利用していた市民には影響がある。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 持続可能な公共交通の構築のための実証運行であり、基本政策の実現につながらなくなる。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 1年目は市民ニーズを把握するために、多目の便数を設定したが、今年度からはアンケートなども踏まえた運行を行なっている。今年度以降は、対象(ニーズ)に応じた運行に意向していくので、便数を絞って行かざるを得ない。分析等に関する分野は
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 分析等に関する分野は委託できるが、協議会の運営などについては主体的に関与していかなければならない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 来年度以降の本格運行を実施するとなっても、補助金は見込めない状況。受益者負担については見直しは必要となってくる。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 実証運行の実績に伴い、ルート、便数、停留所等を変えて市民のニーズに合うよう改善する。 ② コミュニティバスの存在を市民に認識してもらうような取組みを行なう。 ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 実績を分析し、周知不足なのか、運行ルート等不備なのかを慎重に見極める。 ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑦</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	①	コスト削減優先度評価結果	⑦																	
成果優先度評価結果	①																					
コスト削減優先度評価結果	⑦																					